



令和4年度 滝上町立濁川小学校 グランドデザイン

学校経営の基本方針

- ・常に子どもの側（発達段階、個々の実態、本校の課題などをもとに、子どもに育成すべき力）に立った教育活動の推進にあたる。
- ・教育公務員として、公教育の理念を踏まえ、目標や情報を共有しながら協働して経営推進にあたる。

【目指す学校像】

- 子どもにとって「学ぶ楽しさを実感できる」学校
- 保護者にとって「安心して子どもを任せられる」学校
- 地域にとって「“学校のために”と力をかしてもらえる」学校
- 教職員にとって「やりがいのある、挑戦できる」学校

【学校教育目標～子どもに育みたい力（ビジョン）】

心豊かで たくましく 進んで行動する子

「夢いっぱい」

- ・自分の考えをはっきりと表現する。
- ・学ぶための基礎・基本をしっかり身に付ける。

「愛いっぱい」

- ・互いの個性を認め合い、仲良く学習や遊びをする。
- ・愛情と思いやりの心で正しいことを実行する。

「力いっぱい」

- ・自分のめあてに粘り強く最後まで取り組む。
- ・楽しく運動や体力づくりに取り組む。

<自信をもって学ぶ>

<心豊かで>

<粘り強く>

【児童アンケートから成果○と課題●（児童／保護者）】

- 先生の教え方は分かりやすい。 93%/73%
- 自分から進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる。 95%/60%
- きまりや約束などルールを守っている。 97%/67%
- 相手や場に応じた挨拶や返事、言葉遣いをしている。 92%/87%
- 学校以外でも本を読んでいる。 85%/60%
- 考えを分かりやすく発表したりまとめたりする。 80%/67%
- 目標をもって運動している。 78%/73%
- 自分から進んで、他の人と仲良くしている。 85%/87%
- 保護者のアンケート結果が児童より低い～12項目中11項目

【校内研修】

主題「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり（仮）」
～「5つの視点」からの日常的な授業改善の推進～

【今年度の重点教育目標】

心豊かで 粘り強く 自信をもって学ぶ児童の育成
～主体的に達成感を味わわせる～

- ◇単元で身に付けさせたい力と他教科との関連の明確化
- ◇教科の特性を生かした授業デザインの構築
- ◇自信をもって学び合える学習環境の整備
- ◇学びの主体性を育む家庭学習の工夫と充実
- ◇全ての児童の学習を深める指導技術の向上

<基礎・基本の定着>

- ◎各教科の学び方を生かしながら、自分から課題を見付けることができる。
- ◎既知の知識や技能を関連付けながら、見通しをもって解決することができる。
- ◎多様な方法で考えを表現したり、互いに伝え合いながら、自他のよさに気付いたり、考えを深め広げたりできる。

【「令和の日本型学校教育」の構築 R3.1.26 中教審答申】

- 個別最適な学び：ICTの活用、家庭学習との連携
 - ・指導の個別化～子の特性や学習進度に応じた柔軟な指導
 - ・学習の個性化～子の興味・関心等に応じた学習活動等
- 協働的な学び：発表や交流の場の保障
 - ・子ども同士、多様な他者等との学び合いの充実

【濁川小学校として取り組む「これだけは」】

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善と研究実践～研究成果の他教科での実践と検証
 - ・児童自身が進んで見通しをもち、自信をもって課題解決に取り組める学習過程の定着
 - ・ICTの効果的、積極的な活用（個別最適な学びの充実に向けて）
 - ・自分の考えを「まとめ」「伝える」機会の充実と、相手の「考え」を聞き、自分の考えを見直す場の工夫
- 滝小との教育活動全般での連携の充実と、地域教材の一層の活用
- 生活リズムチェックシート等を活用した学習や生活の実態の把握と改善に向けた家庭との情報共有
- 自ら進んで「学び」に取り組む家庭学習習慣の定着
- 個に応じた適切な「目標設定」と「共有」、取組の「振り返り」と「見直し」等の位置付けの徹底
 - ・粘り強く「学力」や「体力（健康）」の向上を目指す意識の育成
- 読む「楽しさ」と「達成感」を感じる読書活動の工夫と充実
- 個の小さな変化に気付ける学校づくり～日常的な道徳的指導の充実、児童会や縦割り等、異学年での活動の工夫

【評価指標～学校アンケートを含む各種調査結果】

- 「学校以外でも本を読んでいる。」を90%以上に
- 「自分の考えを分かりやすく発表したりまとめたりする。」を85%以上に
- 「目標をもって運動している。」を80%以上に
- 「いじめはよくない」の100%継続を
- 児童アンケートの他項目での結果の維持またはそれ以上の結果に
- 全国学力学習状況調査、学力テスト等で全国または全道の平均以上に
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均以上に
- 保護者アンケートの結果が、児童と同等かまたはそれ以上に

【チーム濁川小学校～チーム・ネットワーク】

- 組織力の向上……………1) 重点教育目標の達成に視点を絞った分掌業務の一層の精選
2) 発達段階に応じた「目指す子ども像（重点教育目標）」の共有と全校で「揃える」指導の徹底
3) 日常的な授業交流を中心とした、互いに学び合える環境づくり
- 地域の教育力を活かした活動の充実…1) 保護者や地域の人的・物的教材、CS「人材バンク」の計画的な活用（教育課程への位置付け、教育委員会等の連携）
2) 子どもたちの自信につなげるために、学校だよりや学級通信、HPを活用して教育活動の積極的な発信と共有
3) 幼小・小小・小中との連携と生かした「9年間」を見通した教育活動づくりの工夫と充実
- 働きがいのある職場づくり……………1) 子どもに向かい合う時間の一層の充実～教育活動の精選（教科との連携）、ICTの積極的活用 等
2) 「いつもどおり」「伝統」等にとらわれない、重点教育目標の具現化に向けた教育活動の創造